



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

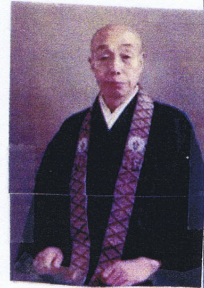
掲示板法話

お盆の季節 お育てに感謝 お浄土からの呼び声を聞く

夏の暑い時期、多くの地方でお盆参り(孟蘭盆会)が勤められます。旧盆の日の前後にまとめて回るお寺もありますが、私共の方では毎晩一軒ごとにお盆参りに関して、亡き父の昔話をこの頃しきりに思い出すのです。

私の父は愛知県のお寺の次男坊で、二十歳の年に四日市の善正寺に養子に入り、先代住職が亡くなると同時に学生の身で後継の住職になりました。ところが早々に、あるお盆参りで大失敗をしたのです。それはご法話の冒頭に称えるご讃題(法話の抛り所となる大切なお聖教の言葉)を間違えたのでした。当の本人はそれとは気づかずお参りを済ませた夜、ぐっすり眠りに就いたのでした。

ところが翌朝、山門の扉を開けると前夜のお盆参りにお参りしていたおじいさんが門前に立ち尽くしていたのです。「こんなに朝早くどうしたのですか?」と尋ねると「わしはタバコの若さんの法話を聞いて汗が流れた。その場で間違いを指摘しようと思った



が、みんなの前で若さんに恥をかかせてはいかんと我慢したが、大切なご讃題の言葉を間違えるようでは先行きが心配で、心配で一睡もできなかった。だから、寺の門が開いたら、いの一歩に若さんにしっかり勉強してもらいたいと頼みに来たんや」とそのおじいさんが涙ながらに話していかれたというのです。

その時父が称えたご讃題は、高僧和讃(善導讃)の「願力成就の報土には自力の心行いたらねば 大小聖人みなながら 如来の弘誓に乗ずなり」という御和讃で、「如来の」と言うべきところを「必ず」と称えたのです。本願力により成就されたお浄土には、自力の菩提心や修行では往生できない。大乘の聖人も小乗仏教の聖人も皆、如来さまのお救いにより往生するばかりだ、という意味ですね。

常に御和讃に親しみ、間違いを指摘したい気持ちもぐっと抑えて我慢したが、夜も眠れず心配して下さった、とは何と有難いことだろうか? 聴聞によって育て上げられた篤信のお同

行さんの純情一途な姿を父は生涯忘れず、「温かいお育て」に深い感謝の念を抱いていたのです。
 コロナの恐怖の前に、聴聞の機会もおろそかにしがちな私たち。感染しようがしまいが、死亡率百パーセントの私たちをお浄土から多くの仏たちが南無阿彌陀仏、南無阿彌陀仏と呼び続けていて下さいませ。孟蘭盆会は先にお浄土に往生されたご先祖方の還相の呼び声に遇う仏縁ですね。

☆行事ご案内☆

秋季永代経 講師:加藤正人先生(桑名)

8月15日(土)・16(日)午後1時半(両日共)

※お経開き招待者は15日(土)午前10時半



孟蘭盆会(うらぼんえ)法要(第5回目)

8月14日(金)朝8時半 正信偈、焼香、住職法話

ご位牌や遺影飾ります。地元の方、納骨堂利用者、有縁の方ご家族でお参り下さい。短時間で終了、冷茶接待

絵手紙教室、9月8日(第2火曜)前10時、久々の再開
10月の『百五銀行門徒展』(第9回目)作品大募集中!

歌声喫茶 8月休み、原則は第3木曜の午後1時、庫裏

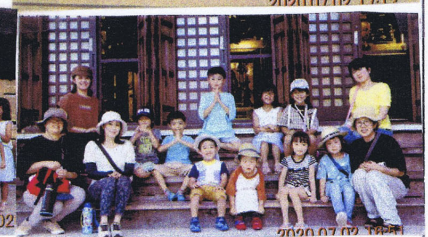
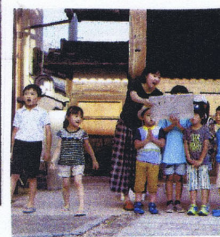
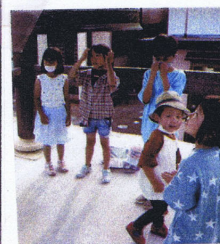
キッズサンガ 8月8日(土)後4時、夕方5時の鐘撞き毎日
門信徒会費巡回 裏面記載、ご協力よろしくお願ひします

善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索1年分の寺報閲覧、
毎日更新ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』好評、開設12

年で32万3千訪問、お悩み・メール相談大歓迎、即返信
一縁会テレホン法話 7月13日より住職、20日より坊守、

27日より若院が週替り担当☎059-354-1454
新納骨堂:後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい

法事場所でお困りの方:本堂使用可、寺にご相談下さい



写真アラカルト

坊守スケッチ

疫病禍での奈良大仏造立

正月早々中国から始まったコロナ感染。日本では2月中旬から急速に広まり、3月には全国一斉休校や東京オリンピック1年延期。善正寺でも春の永代経は中止、4月の仏降誕会と初参式は規模縮小が相次ぎました。

政府は5月末まで全国一斉自粛命令を出し、巷ではマスク不足から手作りマスクが大流行。学校や職場では遠隔授業やテレワークが普及しました。コロナで一変した巣ごもり生活が元通りに戻るとは思えませんが、6月下旬から再び東京で第二波感染が懸念されています。三重県は遠く離れているとはいえ、今後寺での法要はどうなるのかと心配しています。

取り越し苦労は禁物ですが、なるようにしかならならないと諦めて、改めて過去の疫病の歴史を調べました。

歴史学者の上野誠先生によると、743

年聖武天皇が造営を呼びかけた東大寺の大仏も、当時天然痘が大流行して食料生産が危機的状況に陥った中で勧められました。疫病によって政権を握っていた藤原4兄弟が亡くなり、橘諸兄の政権下で土地の私有化の流れも加速しました。いわば疫病は歴史の転換点となりました。このような中で大仏を造るとは一見無謀で無駄なようですが、聖武天皇は仏法による天下

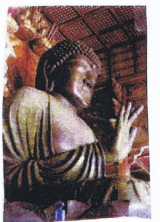
安寧を願いそれを可視化しました。

多くの人が協力すれば必ず困難を克服できるという信念で、はつきり目に見える形で行動を起こしました。

疫病苦難の中で、富める者も貧しい者も力を合わせて大仏を造る目標は、新たな生活の柱となりました。

現在のコロナ危機も長い歴史から見れば、私達の暮らしか社会を一変させる大きな転換点となります。

地縁、血縁の絆は益々薄れて、冠婚葬祭も益々簡略化されます。諸行無常の世の中ですが、私達は子孫に何を伝えるべきかを見極めて、誰もが慎ましく助け合いながら、新たな目標に向かって生きていきたいものです。



俳壇

紫陽花や迷う心の浮き沈み 釋妙水

皮剥くや指水につけ焼きなすび プタンター輝き実るミニトマト

ひまわりや軽く我らの背を抜きり 古寺や歴史の重み苔の床

提灯の微かに揺れる夏座敷 釋楽邦

によるよると道に散り敷く栗の花 登校の子らとりどりの夏マスク

雨降れば嬉々と合唱牛蛙 釋清風

艶なるや寝ても覚めても合歓の花 笹飾り短冊誉めて天の川



☆寺院夫婦の「育児日記」68

去る6月21日、全国的に部分日食が観測されました。ニュースなどで幻想的な映像をご覧になった方もいらっしゃるでしょう。我が家でも日食が始まる午後4時を今か今かと楽しみにしていました。日食を観察するために日食グラスなどの専用器具が必要でした。たまたま前日に市立博物館のプラネタリウムに行った主人と長男が購入してきたので準備万端です。

当日の昼頃までは太陽はしっかりと見えたのですが、夕方になるにつれ雲が厚くなりました。そして日食開始の四時、完全に雲で隠れてしまいました。外に出て観測しますが、日食グラスを着けた長男の残念そうな声しか聞こえません。

ところが、諦めて庫裏へ夕方のお参りに行ったところ、西向きの窓からタイミング良く観測できました！雲の切れ間から弱い光が見えたのです。「見えた、見えた！」という長男の声に老住職も「どれどれ」と腰をかがめて仲良く見上げています。その姿に他の家族は大笑い！楽しい時間でした。

次にこの地方で観測できるのは十年後の6月の部分日食。この時も家族揃って元気で楽しめる余裕と純粋な気持ちを持ち続けたいと思います。



☆お知らせ

令和2年度の門信徒会費を次の予定で巡回します。訪問日は葉書であらかじめお知らせしてありますが、ご都合の悪い方はご連絡下さい。コロナで誠に恐縮ですがよろしくご協力下さい。

- ※8月1(土)・2(日)夕方4時から四日市市街、菰野(住職と行事長)
- ※8月1(土)朝、近隣住宅(住職)
- ※8月2(日)朝、近隣住宅(総代)
- ※7月下旬から8月上旬在所(各行事)

☆縁会テレホン法話

7月13日(月)から住職、7月20日から坊守、7月27日から若院、夫々1週間担当、059-354-1454へお電話を！三週連続善正寺が登場。

☆カンパありがとう

柴田美津代様、矢田たず様、KA様、AK様、他匿名様より。感謝。

☆お悔み申し上げます

★館籠夫様(7月11日往生・92歳・尾平)合掌

☆編集子より

「善正寺だより」320号をお届けします。◇コロナ禍が長引く折、九州や岐阜県でも大変な豪雨災害が発生、被災地の方々に心からのお見舞いを申し上げます。◇コロナ感染予防の、新日常とは？◇3密を避け、マスク、消毒、人と人の距離を空けるシフトは暫くの間続けざるを得ないでしょう。◇コロナ鬱にならぬよう「世の中安穏なれ、仏法広まれ」と精進したい。合掌。

お金の季節が巡ってきました。例年ならば静かに故人を偲ぶことができりますが、今年はコロナで故人との思い出も薄れがち。三密を避けるという理由で、生前親しくしていた人とも最後のお別れはできぬまま。また施設でも面会できずに寂しい限りです。「今はこういう時代だから仕方ないと諦めるには悲し過ぎます。故人が生前大事にしてきた地縁・血縁もコロナの所為で切り捨てるのは残念です。近頃日本では断捨離が大流行。「古いものは捨てる。新しく便利なものを買うのが当たり前」という現代人が増えてきました。ネットで見つかる絆に束の間癒しを求め、自分が可愛がるペットに最高の愛情を注ぎます。心まで断捨離をするのは如何なものでしょうか？、ところでコロナ期間中に私は白内障両眼手術を受けました。「よく見えるようになった？」と聞かれますが、感激も少なく老眼鏡が必要になって不便さを痛感しています。

今まで裸眼で何でも見えていたので却て感謝の気持が薄いのです。白内障の次には、急に血圧が上昇し、降圧剤を服用し始めて医者通いが増えました。知らずくの内にお迫り来る老いと病気を素直に受け止められず、慌てふためき「我を張る」と私だと気付かされました。コロナ第二波の不安はありますが、8月の行事は感染予防に注意を払いつつ予定通り勤めるつもりです。万一変更の場合には直ちに連絡しますのをご了承下さいませ。暑さとコロナの中くれぐれもご自愛下さいませ。合掌

令和二年八月

善正寺坊守拝